

高知市地域アクションプランの進捗状況等について

高 知 市 地 域 本 部

令和4年2月15日（火）

高知市地域アクションプランの進捗状況等

R4.2.15

高知市地域本部

1 地域アクションプランの令和3年度第3四半期の実施状況（総括）

(1) 総評

高知市地域の全23項目の地域アクションプランに関しては、実行支援チームを編成し、既存の助成制度やアドバイザー制度の活用等により、経営基盤や基礎的インフラの強化を図り、それぞれの目標の達成に向けて、着実に取り組みを進めている。

地域産業クラスターの取り組みでは、竹ハンドルに替わる新たな商品の開発に向けて、関係機関と連携を取り、竹材の集荷や加工・販売などの竹産産を土佐山地区に集積して拠点化し、県内各地への集材先エリアの拡大を図るなど、竹資源を活用したクラスターの形成を目指している。

農業分野では、土佐山地区のユズ関連商品について、新型コロナウイルス禍で業務用のニーズが低迷する中、「土佐山のユズ」の知名度アップと販売促進に向けて各種イベントへの参加を行った。

また、引き続き好調なインターネット販売に加え、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した都市圏での商談会への参加により売り上げを徐々に伸ばすとともに、ドローンによる防除等のスマート農業やユズ選果機の導入などにより、産地の維持や省力化による安定的な生産を目指している。

高知県産イタダリの外商については、鏡地区を中心に県内各地に栽培産地の拡大を図り、生産者と食品メーカー等で設立した「高知県イタドリ生産普及販売促進協議会」において、生産・加工・販売が一体となったブランドの確立や組織体制の強化に取り組み、生産団体の新規加入、体制の見直しが進んでいる。

観光・商工業分野では、桂浜・浦戸湾の一体となった取り組みを進めるべく、桂浜公園の観光案内所や休憩所等の整備や土産物販売店等の既存施設のリノベーションに向けての耐震化が終了し、指定管理者の指定が行われ、計画は順調に進んでいる。

浦戸湾遊覧船に新たに桂浜発着とする遊覧コースについても安全性により配慮した運航手順の策定に向けて取り組みを進めており、県内最大の観光地である桂浜公園の魅力度アップによる観光客の増加に向けての大きな一歩を踏み出した。

今後、高知市を中心とした34市町村による「れんけいこうち広域都市圏ビジョン」に登載された連携事業などの活用により、高知市を核とした県内各地への周遊観光の促進に取り組んでいく。

(2) 具体的な動き

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興（高知市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知県（春野地区営農経済センター）</p> <p>・JA高知県（春野地区胡瓜部会）</p>	<p>[指標]</p> <p>出荷量（園芸年度*）※9～8月</p> <p>出発点（R元）：10,345t</p> <p>直近値（R2）：10,172t</p> <p>到達目標（R3）：10,000t</p> <p>目標（R5）：12,700t</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>出荷量 (R3 園芸年度) : 10,364t (対前年度比 : 101.9%)</p> <p>○生産の収量・品質向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IPM 技術の推進 <ul style="list-style-type: none"> 個別巡回(4~6月、19回/9戸) (10~12月、9回/7戸) 実証ほ調査 <ul style="list-style-type: none"> (つる枯病 : 4~6月、36回/4戸 10~12月、6回/2戸) (赤色 LED : 4~6月、13回/1戸 10~12月、11回/1戸) (常温煙霧 : 4~6月、9回/1戸 10~12月、45回/5戸) IPM に関する情報提供 (黄化えそ対策協議会 6月) ・ 収量向上・生産の効率化 <ul style="list-style-type: none"> 環境制御アドバイザー事業 <ul style="list-style-type: none"> (生育調査 4~6月、13回/1戸) (個人面談 6月、1回) 実証ほの環境測定、生育調査(4~6月、77回/9戸) (10~12月、54回/9戸) IoP クラウドの利用推進(アンケート調査 5~6月) (はるかぜ便り配布 11~12月) (個別巡回 10~12月) IoP クラウドの情報提供(チラシ配布 6月) UECS 対応型環境制御装置の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> (UECS 現地検討会 5/20) (個別指導 4~6月、4回/2戸 10~12月、12回/2戸) ・ GAP の推進 <ul style="list-style-type: none"> GAP チェックシート分析(4~5月、207戸) 生産者 GAP 分析結果のフィードバック <ul style="list-style-type: none"> (目慣らし会 12月、31名参加) GAP に関する情報提供 <ul style="list-style-type: none"> (キュウリ旬報への掲載 6月、12月) (JA 広報誌への投稿 6月) 出荷場 GAP 点検(4・6・10・12月、4回) 作業員向けの GAP に関する研修 <ul style="list-style-type: none"> (GAP 研修会 6/28、90名参加) ○担い手の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就農者の受入強化 <ul style="list-style-type: none"> 新規就農支援チーム会 (4・7・10・12月、4回)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>研修生の面談(4月・7月、2回)</p> <p>研修候補生のマッチング研修(4～6月5回)</p> <p>研修生候補のお試し研修(11～12月3回)</p> <p>募集活動(6月1回・7名参加、7月1回・29名参加、9月1回・9名参加、11月1回・5名参加)</p> <p>中古ハウス支援体制の検討(4月1回、12月1回)</p> <p>・経営管理の向上</p> <p>就農状況現地確認(6月1回、10月・12月14戸×3回)</p> <p>決算データ収集(5月、7回)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・生産の収量・品質向上対策</p> <p>⇒省力化、環境制御技術の普及促進 (実証試験結果等の情報提供)</p> <p>⇒黄化えそ病対策の徹底 (IPM技術の普及促進)</p> <p>・担い手の確保・育成</p> <p>⇒新規就農者の受入強化 (研修生への支援、新たな就農希望者へのPR活動)</p> <p>⇒経営管理の向上 (個別カウンセリングによる経営管理向上に向けた支援、研修会)</p>
<p>■No.3 新ショウガの生産振興(高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知県(春野地区営農経済センター)</p> <p>◎・JA高知県(春野地区生姜部会)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高(園芸年度*) ※9～8月</p> <p>出発点(R元): 8.64億円</p> <p>直近値(R2): 8.21億円</p> <p>到達目標(R3): 8.70億円</p> <p>目標(R5): 8.70億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3園芸年度): 8.72億円(対前年度比: 106.2%)</p> <p>○腐敗事故防止に向けたチェックシートの活用、啓発</p> <p>・腐敗事故対策とGAPの連動</p> <p>目慣らし会における啓発(5・6月2回)</p> <p>出荷場GAP点検(4・6・10・12月、4回)</p> <p>作業員向けGAP研修会の開催(6/28)</p> <p>○新たな栽培技術の検討</p> <p>・ハウス内環境のモニタリング及び収量調査</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>生育調査及び掘り取り調査(4・5月、2回) R4園芸年度実証ほの設置(12月)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腐敗事故防止に向けたチェックシートの活用、啓発 ⇒GAP点検シート利用の啓発 ・新たな栽培技術の検討 ⇒環境データ分析を通じた栽培技術の確立
<p>■No.4 ユズを核とした中山間農業の活性化 (高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・高知市土佐山柚子生産組合 ◎・JA高知市 ◎・土佐山ファクトリー(協組) ◎・高知市 	<p>[指標]</p> <p>(1)ゆず販売額(暦年)</p> <p>出発点(H30):1.6億円 直近値(R2):1.7億円 到達目標(R3):1.7億円 目標(R5):1.9億円</p> <p>(2)ユズ精油等販売額(年度)</p> <p>出発点(H30):3,877万円 直近値(R2):3,724万円 到達目標(R3):4,440万円 目標(R5):4,900万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)ゆず販売額(R3年産玉販売見込):1.4億円 (対前年比:84.3%)</p> <p>(2)ユズ精油等販売額(R3.12月末):1,931.5万円 (対前年同期比:61.1%)</p> <p>※上半期にコロナ禍による中国への化粧品の輸出減の影響で 主な取引先である香料メーカーへの納品量が減り、また、 昨年度10~11月は通常納品分に加えてスポット納品があり 約2倍の納品量であったが、今年度は通常分のみであった ため</p> <p>○安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本技術の徹底 発芽・開花状況の調査(4~6月、6回) 果実肥大状況の調査(7~10月、5回) 黒点病防除対策の情報提供(技術情報誌「ユズだより」 (4月、6~9月)) 開花期防除の情報提供(技術情報誌「ユズだより」5月)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>収穫前～収穫後の管理の情報提供(技術情報誌「ユズだより」10～12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ドローン防除研修会の開催(6/6) ドローン防除の実証試験(7～9月、4回)(実証圃7a) アシストスーツ紹介(ユズ酢玉目慣らし会10/24) ・青果出荷の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ユズ選果機(1台)の導入支援(R2高知市農産物集出荷施設等緊急整備事業費補助金(7月)) 選果機調整検討(10～11月、3回) <p>○生産基盤の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> 複合経営モデル(案)作成(ユズ+四方竹) ・新植・改植の推進 <p>果樹経営支援対策事業による新植希望(申請4戸、42a)</p> <p>○産地のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の大手香料メーカー等との契約更新:10件 ・各イベントへの参加 <ul style="list-style-type: none"> (土佐山のゆずイベント(イオンモール高知:10月)、土佐山ゆず祭り(とさのさと:11月)、まるごと高知土佐山ゆずイベント(まるごと高知:12月)) ・県内紙業メーカーのユズ精油添加の全身シート商品化(4月) ・県庁・市役所での土佐山ユズ製品店内販売の実施(5月、6月、11月) ・芳香蒸留水について高知大学との共同研究(R2年度～継続中) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本技術の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ⇒技術情報誌「ユズだより」における情報提供(毎月)、巡回指導の実施 ・スマート農業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ドローン防除の定着に向けた方向性検討(～3月) ・青果出荷の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ユズ選果機の追加(6台)導入(2月末予定) ・酢玉の生産量増加にともなうユズ搾汁施設の冷凍庫追加整備(2月末予定)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○生産基盤の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保・育成 ⇒新規就農者支援に向けた研修の実施(1~3月) ・新植・改植の推進 ⇒新植技術指導(随時) <p>○産地のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ユズ果汁、芳香蒸留水の販売先の拡大
<p>■No.6 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興(高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一財)夢産地とさやま開発公社 ・連携農家</p>	<p>[指標]</p> <p>販売額</p> <p>出発点(H30):1.73億円 直近値(R2):1.78億円 到達目標(R3):1.98億円 目標(R5):2.1億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>販売額(R3.11月末):1.28億円 (対前年同期比:99.6%)</p> <p>○加工品の販路開拓・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種展示商談会への出展9回 (ファベックス2021(4月)、三井食品フードショー2021(6月)、東海スーパーマーケットビジネスフェア(7月)、日本アクセス商談会(7月)、通販食品展示商談会(9月)、高知県産品商談会(10月)、国分中部展示会(1月)、国分西日本展示会(1月)、伊藤忠展示会(1月)) ・日曜市や各イベントへの出店 (日曜市(毎週)、ピエール・エルメ東京3店舗 高知フェア(4~7月) 大丸須磨店高知フェア(7月)、イオン高知 TSUNAGU マーケット(8月)、福祉物産展ハピテラス(8月)、阪急梅田駅高知フェア(9月)) ・インターネット販売の促進 (自社サイト「とさやまマルシェ」、Yahoo!、Amazonに加え、R3年1月~楽天、R3年9月~Qoo10にも参入) (対前年同期比:148.3%) <p>○公社全体の経営改善に向けた財務分析と課題抽出、新型コロナ対策を踏まえた経営改善計画の作成と実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 全体支援)制度の活用(オンライン会議:6/29、1/25、1/26 アドバイス会議:11/10、11/22、12/13、12/14)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー（課題一貫支援型 個別支援）制度の活用（アドバイス会議:1/25） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部門の売上の安定化及び拡大 ⇒人員配置の見直しによる生産性向上 ⇒既存商品のブラッシュアップ及び新商品開発による商品ラインナップの充実 ⇒商品別売上分析による仕入計画及び製造計画の見直し ⇒産業振興アドバイザー（課題一貫支援型 全体支援、個別支援）の導入による経営改善策及び成長性のある事業の収益向上策の検討と実行支援 ・営業体制の強化 ⇒SNS等を活用したネット販売強化による収益の向上 ⇒商談会等への出展（ギフトセット商品カタログ配布） ⇒日曜市や各イベント等への参加・情報発信による知名度の向上
<p>■No.8 加工品充実による直販所の活性化と食の伝承（高知市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知市女性部直販部会(直販所「真心ふぁーむらぶ」)</p> <p>◎・加工組織なるクラブ</p>	<p>[指標]</p> <p>直販所売上高（暦年）</p> <p>出発点（R元）：9,200万円</p> <p>直近値（R2）：8,821万円</p> <p>到達目標（R3）：9,300万円</p> <p>目標（R5）：1億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>直販所売上高（R3）：8,959万円（対前年比：101.6%）</p> <p>なるクラブ販売額（R3）：3,172万円（対前年比：97.9%）</p> <p>○直販所真心ふぁーむらぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生関係勉強会（6/26） ・「直販所事業戦略策定セミナーの専門家派遣」のフォローアップ（11/1） <p>○加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・POSデータ分析による課題の検討、取り組みの進捗管理、製造計画の策定（4/19、6/14、8/16、11/12、1/24 5回） ・6次産業化サポートセンター事業の活用（アドバイザー選定聞き取り調査(7/5)、アドバイザー会議(9/29、11/15)、新メニュー試作会（11/26） ・衛生管理およびHACCPの手順書作成、チーム会の実施（6/14）

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ HACCP 研修会、農林水産物直販所「安心係」養成講習会 (7/27、7/29、2回) ・ 表示シール変更勉強会 (8/16) ・ 活動についての情報発信 (RKC テレビ「おはようこうちさんしん GO! (11/28)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直販所真心ふぁーむらぶの販売拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒昨年度実施した「直販所事業戦略策定セミナーの専門家派遣」のフォローアップに向けた支援 ○加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・既存商品の見直し・重点化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒バリエーションのあるメニュー作りや既存商品の見直し ⇒販売額の向上を目指し、継続してチーム会を開催 ・衛生管理と HACCP 対応 <ul style="list-style-type: none"> ⇒継続して勉強会を開催し、手順書作成を支援
<p>■No. 9 生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出 (高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・岡崎牧場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市酪農農業協同組合 	<p>[指標]</p> <p>加工品の販売額</p> <p>出発点 (R元) : 1,000 万円</p> <p>直近値 (R2) : 927 万円</p> <p>到達目標 (R3) : 1,100 万円</p> <p>目標 (R5) : 1,600 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>加工品の販売額 (R3. 11 月末) : 774 万円 (対前年同期比 : 129.2%)</p> <p>※前年度はコロナウイルス感染拡大防止のため休業期間あり (対 R 元同期比 : 119.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新商品開発・商品磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> ・季節商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> イチゴを使った週替わり商品発売 (4月) 父の日用ケーキ販売 (6月) 夏季限定ソフトクリームオンコーヒーゼリー販売 (7月) <ul style="list-style-type: none"> →好評につき週末のみ販売を継続 (11月～) カボチャプリン販売 (10月) 紫イモのモンブラン販売 (10月) クリスマスケーキ予約販売 (12月)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>イチゴミルクババロア販売(1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールケーキのギフトボックスの変更(6月) ・高知家のうまいもの大賞2022エントリー(8月) <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの情報発信(4月～) ・テレビ高知「からふる」での生放送(5/7) ・店内での誕生日ケーキチラシ掲示(6月～) <p>○酪農教育ファームの実施等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酪農教育ファームの実施(6/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者の増加 ⇒販促・販売用のディアランドファームオリジナルシールの作成 ⇒新商品の定期的な開発 ・酪農教育ファームにおける防疫、省力化 ⇒衛生管理マニュアルの作成 ⇒複数人が同時に使用できる聴診器等の機材の新調
<p>■No. 10 高知市の原木増産の推進(高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・高知市森林組合</p>	<p>[指標]</p> <p>素材生産量</p> <p>出発点(H30): 3,056 m³</p> <p>直近値(R2): 2,373 m³</p> <p>到達目標(R3): 3,000 m³</p> <p>目標(R5): 4,200 m³</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>素材生産量(R3.12月末): 1,516 m³ (対前年同期比: 73.2%)</p> <p>※R3年度に入り現場職員が退職し、作業量が減少しているため</p> <p>○事業地の拡大、生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間を終了した「森の工場」について、伐採可能となったため再登録を予定(100ha: R3年度中を予定) ・高知市及び高知市森林組合へ県の増産支援策を紹介 (5/24) ・高性能林業機械の紹介、導入を打診(6/7)

